

大震災・復興ニュース(第110報)

平成25年5月30日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年5月24日～5月28日
- 2 測定分析機関 宮城県,(公財)海洋生物環境研究所,(株)総合水研究所,(一財)日本食品分析センター,(公財)日本分析センター,(一財)日本冷凍食品検査協会,(一財)九州環境管理協会,東北緑化環境保全(株),(独)水産総合研究センター中央水産研究所
- 3 測定及び対応結果

全ての検査品目について、基準値を下回り、安全性に問題ないことが確認されました。

なお、「不検出」とは、放射性物質の濃度が、検出限界値に満たない(検出下限値未満)ことを指します。

水産物(漁獲日 平成25年5月21日～5月28日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
スズキ	金華山～江の島沖	1.6	コモンフグ	東松島市浜市沖	4.9
スズキ	気仙沼市唐桑沖	1.5	サヨリ	東松島市浜市先	不検出
スズキ	金華山～江の島沖	1.2	シャコ	松ヶ浜沖	不検出
スズキ	金華山～江の島沖	1.6	シリヤケイカ	東松島市浜市沖	不検出
ヒラメ	大須沖	不検出	スズキ	東松島市浜市沖	1.6
マガレイ	女川湾沖	不検出	ヒガンフグ	東松島市浜市沖	9.2
マコガレイ	女川湾沖	不検出	ヒラメ	名取市閑上沖	6.1
ムシガレイ	鮫浦湾(寄磯)沖	不検出	ヒラメ	宮城県沖	3.5
イトヒキダラ	宮城県沖	不検出	ヒラメ	山元沖	1.1
クロソイ	東松島市浜市沖	不検出	ミスダコ	宮城県沖	不検出
クロダイ	東松島市浜市沖	1.1	カツオ	日本太平洋沖合	0.31
コノシロ	東松島市浜市沖	0.67	ヤマトシジミ	北上川(石巻市)	不検出
コモンカスベ	東松島市浜市沖	不検出	ヤマトシジミ	北上川(石巻市)	不検出

放射性物質の値は漁獲日における値を示す

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

仙台湾地域復興プロジェクト(刺し網)計画が承認されました

・5月28日(火)東京都で「がんばる漁業復興支援事業の第11回中央協議会」が開催されました。今回の協議会では、当部管内の仙台湾地域復興プロジェクト(刺し網)の復興計画が審査の末、承認されました。このプロジェクトでは、宮城県漁業協同組合が実施主体となり、七ヶ浜支所所属刺網漁船(大吉丸,12トン)が、省エネエンジンやLED集魚灯,海水冷却装置等の導入により、漁獲物の高品質化や操業コストの削減に取り組めます。

この計画の実施により、収益性の改善や資源に配慮した持続的な操業が可能になり、七ヶ浜の漁船漁業だけではなく、仙台湾地域全体の復旧復興の促進が期待されます。



中央協議会での審査状況

アサリの出荷が行われています。

・管内のアサリの出荷が最盛期を迎えています。宮城県漁業協同組合塩釜総合支所管内では、5月から共販が始まっており、5月27日(月)までの累計で、数量は前年並みの10,269kg、金額は前年度比115%の5,846千円(単価450~810円/kg)となっています。大潮を迎えた24~27日にかけてはアサリ漁が盛んに行われ、管内でも漁獲量の多い七ヶ浜では、多い人で50kgを超える水揚げとなっていました。



アサリ漁の様子



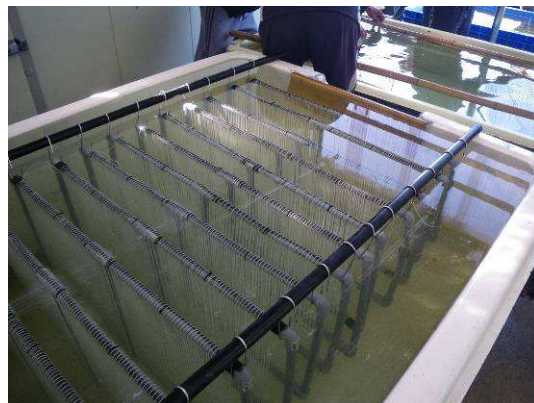
アサリ選別作業

ワカメのタンク採苗が始まっています。

・5月24日(金)宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所の花淵ワカメグループがワカメのタンク採苗を行いました。昨年に引き続き今回が2漁期目の自家採苗となります。遊走子(ワカメの種)の出も良く、およそ3,000mの種糸が確保されました。塩釜市第一支所でも5月22日(水)から採苗が開始されており、順調な生産が期待されます。



ワカメタンク採苗の様子



同 左